

## Contents

- ・ 病院長新年のご挨拶
- ・ 患者支援センター長新年のご挨拶
- ・ 第6回医療連携フォーラムご報告

- ・ 診療科紹介
- ・ 患者さんからの電話予約を開始
- ・ がん遺伝子パネル検査のご案内
- ・ 2022年度第5回がんと共に  
すやかに生きる講演会のご案内
- ・ 年未年始の診療記録



編集：杏林大学医学部附属病院  
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2  
Tel. 0422-47-5511(代表)



## 新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の第8波がインフルエンザとともに押し寄せてきて、今回も医療機関にとってはきびしい年明けとなりました。当院においても、クラスター等による病床稼働制限がありました。コロナ患者の診療だけでなく、特定機能病院としての地域の急性期医療を担うべく診療体制の維持・充実に努めております。

昨年10月には、腫瘍内科に新しい教授が就任いたしました。がんゲノム医療や遺伝子診療など最先端の医療の推進にも積極的に取り組んでまいります。本年には、高度救命救急センターのカテーテル治療室を最新鋭の装置に更新いたします。また、従来の医療機関からの紹介患者さんの予約方法に加え、患者さん本人から電話で初診予約を行えるようにいたしましたので、引き続き患者さんをご紹介いただけますと幸いです。

この先のコロナの収束を願い、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

病院長 近藤晴彦



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。患者支援センターは地域医療機関との連携により患者さんの外来受診、入院、退院後の療養環境の調整、その他諸々の支援を行っております。

これまで初診の予約は、紹介元の医療機関からFAXで受け付けておりましたが、今年1月より患者さん本人からの電話予約も可能にいたしましたので、改めてお知らせいたします。先生ご自身で予約を取る手間がなくなりましたので、是非ご利用ください。その際、受診を希望する診療科名を明記して患者さんにお知らせください。また、事前の診療情報確認のため、これまで同様に紹介状を地域医療連携宛てにFAXで送付いただきますようお願いいたします。

また、昨年11月17日には、第6回杏林大学医学部附属病院医療連携フォーラムをウェブで開催いたしました。おかげさまで65名の先生方にご参加いただきましたが、厚く御礼申し上げます。ウェブ開催のため参加しやすい反面、熱意が伝わりにくいことを少々歯がゆく感じました。今年こそご来院いただき、当院の雰囲気を感じていただきたいと思います。

本年も先生方と連携しながら、患者さんに満足いただける医療を提供したいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

患者支援センター長 神崎恒一

## 第6回 杏林大学医学部附属病院 医療連携フォーラム (2022年)

当院では、地域の医療従事者の皆様との連携をより一層深めるため、医療連携フォーラムを開催しています。2022年は11月17日(木) 19時から20時に、新型コロナウイルス感染症対策のため、ウェブで実施いたしました。ご参加いただいた皆さまに御礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

- 内容 ①病院長挨拶 ②来賓挨拶 (三鷹市医師会会長 内原正勝氏) ③患者支援センター紹介  
④診療科紹介 [1 呼吸器・甲状腺外科～呼吸器領域における低侵襲・ロボット支援下手術：当科の取り組み]  
[2 脳神経外科～脳を知る、守る、育む] ⑤質疑応答



## 診療科紹介

## アイセンター

眼科学は多くの専門領域に分かれています。杏林アイセンターでは、網膜硝子体、角膜、白内障、緑内障、加齢黄斑変性、眼炎症、眼窩・腫瘍疾患、小児眼科、ロービジョンケアに特に力を入れており、各専門外来を開設しています。これは細分化・専門化した眼科診療に高水準で対応するため、眼科総合診療センターとして杏林アイセンターを立ち上げた理念に基づくもので、おかげさまで来年で設立 25 年になります。

外来には最新の光干渉断層計や光干渉断層計アンギオグラフィー、手術室には最新の手術顕微鏡や手術装置を備えて、緊急疾患にも対応するようにしています。外来は外来棟 5 階の全フロアとなり、診察室を増室して、小児眼科の患者さん用にキッズスペースも設けています。外来内にはロービジョンの方を考慮した配色で廊下には誘導のためのガイドライン表示があります。また、案内表示は診察室番号の他に A から D までのレーン表示を行っています。また、昨今はコロナ禍のため、患者さんへの体調チェックと待合椅子は間隔を開けてお待ち頂くようになっています。

今後もクオリティ・オブ・ビジョンを向上させる治療を追求して、多くの患者さんにより良い医療を提供できるように、スタッフ共々努めてまいります。



診療科長・教授  
井上 真



診療科一同

### 患者さんからの電話予約を開始

紹介状（診療情報提供書）をお持ちの患者さんに、円滑に当院を受診いただけるよう、電話による予約を 2023 年 1 月から開始いたしました。ぜひご利用ください。

予約電話番号：0422-44-1886

受付時間：平日 8 時 45 分～16 時 15 分

土曜日 8 時 45 分～12 時

（日曜・祝日・年末年始・創立記念日除く）

※もの忘れセンター、腫瘍内科、放射線科、感染症科、リハビリテーション科は対象外

※当日の予約はお取りできませんので、ご注意ください。



### 2022 年度第 5 回 がんと共にすこやかに生きる講演会

当院がんセンターでは、定期的ながん患者さんやその家族、一般市民向けに講演会を開催しています。

皆さまのご参加をお待ちしています。

日程：2 月 25 日（土）13 時 30 分～14 時 30 分

形式：ウェブ Zoom

講演：「肺がんの基礎と薬物療法について」

呼吸器内科 学内講師 高田佐織

参加費無料、事前予約制

申込み等詳細：当院 HP「お知らせ」参照

申込期限：2 月 20 日（月）



### がん遺伝子パネル検査のご案内

がんゲノム医療連携病院である当院では、がんに生じている遺伝子の変化を網羅的に解析し、患者さんの治療選択に役立てる遺伝子検査「がん遺伝子パネル検査」を実施しています。

●検査を希望する患者さんへ

〔対象条件〕

- ・薬物療法の適応となる進行・再発がんで、標準治療が終了 / 終了見込みの方
  - ・薬物療法の適応となる希少がん、原発不明癌 など、詳細はがんセンター HP 参照
- ※ご自身が対象となるかどうかは、主治医にご相談ください。

●医療機関の皆さまへ

腫瘍組織検体と必要書類を当院がんセンターへご郵送ください。

詳細はがんセンター HP をご参照ください。

※予約は医療機関からのみ受け付けています。

〔問い合わせ先〕杏林大学医学部付属病院 がんセンター

0422-47-5511（代表）平日 9 時～17 時



### 年末年始の診療記録

2022 年 12 月 28 日夕方～  
2023 年 1 月 4 日朝まで



患者数	698 人（内 3 次救急 36 人）
救急車台数	101 台（内 3 次救急 35 台）

（内訳 1・2 次救急のみ）

診療科	救急総合	内科系	外科系	精神神経科
患者数	212	53	15	1
診療科	小児科	小児外科	脳神経外科	整形外科
患者数	70	3	21	42
診療科	皮膚科	形成外科	泌尿器科	眼科
患者数	17	65	22	46
診療科	耳鼻咽喉科	産婦人科	SCU	放射線治療科
患者数	38	19	5	33